相産定時制だより

令和　３年　２月１日発行
兵庫県立相生産業高等学校
定時制課程
http://www.hyogo-c.ed.jp/~aioi2-ihs/

第8号

１月の主な行事

≪3 学期始業式≫

１月８日（金）、3 学期始業式を実施しました。校長先生の式辞では、大坂なおみ選手の黒いマスクに関する新聞記事が紹介され、人の言葉や行動をどう感じるか、どうとらえるかが重要であるということをお話ししていただきました。

表彰式では、日本語ワープロ検定試験、JIS 手溶接技能者評価試験の合格者が表彰されました。

生徒会認証式では、3 年生２名、2 年生１名、1 年生２名が新生徒会の役員として校長先生より認証状をいただきました。その後、新生徒会長による挨拶が行われました。新生徒会は今月より活動を開始しています。

≪ガス溶接技能講習（学科・実技）≫

１月９日（土）、10 日（日）に、近畿中小企業溶接事業協同組合から２名の講師の方をお招きし、3 年生２名、2 年生２名がガス溶接技能講習を受講しました。

１日目は設備・器具の構造、管理・取扱い基準、関係法令等の学科講習、2 日目はボンベ・機材の取り扱いや溶接・切断の実技講習を受けました。

受講者全員が筆記試験にも合格し、無事講習を修了しました。

≪消費者教育講座≫

１月 13 日（水）、4 年生・2 年生三修制を対象に、全国消費生活相談員協会の鈴木惠氏を講師としてお招きし、消費者教育出前講座を実施しました。成人年齢の引き下げを踏まえた消費者教育として今回の講座を実施し、生徒たちは契約についての基本的な知識や、ネットショッピングに関わる注意事項、成人年齢引き下げによって考えられる課題、実際の消費者トラブルの事例などを学びました。

≪しゃべり場教室≫

１月 19 日（火）、高校生心のサポートシステム事業の一環として 3 年生を対象に、防災をテーマとしてしゃべり場教室を実施しました。授業を通して、地震が発生した時の適切な行動やその行動をとるための判断力を培いました。また、グループワークの中で、自分の考えを伝えあうことで考えを深め、思考力と表現力を育成しました。

≪禁スマ≫

１月 20 日（水）、生徒会の生徒を中心に校内清掃と禁スマを実施しました。生徒たちは昇降口や教室前でポスターをかかげて禁スマを呼びかけました。また、新生徒会メンバーに対して禁スマの日の活動内容の引継ぎも行われました。

≪課題研究成果発表会≫

1月26日（火）に課題研究成果発表会を実施しました。生徒たちはパワーポイントを活用して課題研究の作業工程を紹介し、今までの努力の成果を発表しました。

機械工作班

鉄骨作りの木製ベンチを製作しました。

鉄骨の溶接や防腐塗料の塗装作業、組み立て作業など細かい工程が多く大変でしたが、ベンチ製作を通して様々な機械を使う技術を習得し、価値あるベンチを仕上げることができました。

飛び出し坊や製作班

地域に設置してもらう「飛び出し坊や」を製作しました。

デザイン選びや木材のカット、塗装作業や文字入れ、土台づくりなど工程が多く、ものづくりの難しさを実感しました。今年度は相生市の民生委員様より新しいデザインの要望があり、「飛び出し婆や」も製作しました。

修理・修繕班

校門破損部分の修理と生徒玄関用の傘立てを作製しました。

破損部品の計測や材料選定、組立、調整などの工程を通して、簡単なつくりの物でも大変な作業があるということを学びました。学校の設備の修繕に貢献でき、納得のいく課題研究となりました。

地域貢献活動班

千尋町納涼祭に向けて、地域の方々との交流を目的とした「ピンボールゲーム」と「かたかた人形」を製作しました。

３D－CAD、３Dプリンターを使用しての部品製作を通してものづくりの難しさや奥深さを学びました。次の納涼祭で今回製作した遊具が多くの方々に楽しんでもらえることを期待しています。

溶接ものづくり班

工事現場で設置されているような鉄製のバリケードを製作しました。

高速切断機や半自動溶接機など様々な機械を使用しました。初めて扱う機械に抵抗を感じたり、ガス溶接に恐怖を感じるなど困難も多くありましたが、回数を重ねるうちに克服し、よい作品を仕上げることができました。

ステンドグラス班

基本技術を学ぶための小物入れと本校の来客用玄関に飾るステンドグラスを製作しました。

約300個のパーツを「切って、削って、テープを巻く」という細かい作業が続き、心が折れそうになることもありましたが、立派な作品が完成しました。今年は「白虎」を製作しました。

≪情報技術検定≫

1 月 15 日（金）、3 年生を対象として情報技術検定を実施し、8 名が合格しました。

≪第２回オープンハイスクール≫

1 月 21 日（木）に第 2 回オープンハイスクールを実施しました。近隣の中学校から生徒、保護者、合計５名の方々に参加いただきました。1 限、2 限の授業見学や大会議室での作品展示、機械科のパネル展示など、みなさんに興味をもってご覧いただきました。

『新聞閲覧』感想紹介

※３学期から新聞閲覧では生徒が気になった記事を選び、その記事を選んだ理由や感想を書いています。

『新聞閲覧 17』（1 月 14 日（木）実施）感想紹介

『何ごとも続けるのが一番』

去年は何事も続かず、すぐにやめてしまっていたので、新しい年を迎えてからは何ごとも続けるようにしようと思っていたからです。
（1 年）

『温かい言葉をかける』

周囲の人に関心をもち、温かい言葉をかけるというのはとても大切なことだと思いました。自分もそういう人間になりたいと思いました。そういう人が増えれば、職場でのいじめなどもなくなると思います。
（4 年）

『メールの会話で勇気をもらい』

自分たちが毎日当たり前のように使っている LINE で、元気をもらい頑張ろうと思える投稿者の方の心がとてもきれいだと思いました。
（3 年）

『新聞閲覧 18』（1 月 20 日（水）実施）感想紹介

『碑の前　息子と一対一で語る』

僕はまだ大地震や大災害を経験したことはないけれど、地震や災害はいつどこで発生するか予知できないものなので、突然それが起こったときのために避難所の場所を覚えたり、懐中電灯などの防災用品を買って備えておきたいと思いました。
（1 年）

『避難所体験　気づき新た』

この記事を読んで、避難所体験というものがあることを初めて知り、興味をもてた。自分は災害が起きたときの避難所を知らないので、調べてみようと思った。
（2 年）

『引き渡しルール作り徹底を』

私たちが小学生だった頃も、防災訓練の一環で引き渡し訓練がありましたが、その時はただ整列して親の迎えを待つというだけで細かいルールや災害が起きた時の的確な対処法などはありませんでした。思い返すと心配な面がたくさんあります。現在は、今までに起こった震災の事列を教訓に学校と保護者間で具体的なルール作りを徹底すると聞いているので、少しは安心できるかなと感じました。
（4 年）

『新聞閲覧 19』（1 月 25 日（月）実施）感想紹介

『震災の記憶　私が伝える』

自分は命の重みについては全然わかっていないけれど、実際に災害を経験し命の危機になるとその重みがわかるようになるのかなと思いました。日本は常に地震の危機にさらされているので気をつけたいと思いました。
（2 年）

『福島の今　高校生が取材』

小学生のころにテレビで見たことをすごく覚えています。今、ユーチューブなどで当時の動画を見ると、事の大きさをとてもよく感じます。高校生が当時のことにふれ、今の被災地を取材するということにとても感心しました。「被災地の今を伝えたい」というワードにすべての思いがつまっていると感じました。
（3 年）

『「1.17」伝えたい心の言葉』

阪神淡路大震災で被災された方々の言葉には、前日までは元気に過ごしていたのに震災の被害を受けて突然いなくなったり、親孝行ができなかったりと後悔の声がたくさんありました。僕は地震などの災害に備え防災対策をし、後悔しないように親や大切な人との時間を大切にしたいです。
（4 年）

2 月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
		新聞閲覧 20		学びたいむ① C.C	学びたいむ②	
7	8	9	10	11	12	13
	学びたいむ③ C.C	学びたいむ④	学びたいむ⑤	建国記念の日	生徒休業日 （家庭学習）	
14	15	16	17	18	19	20
	生徒休業日 （家庭学習）	学年末考査①	学年末考査②	学年末考査③	学年末考査④	
21	22	23	24	25	26	27
	学年末考査⑤	天皇誕生日	卒業式予行	卒業式	テスト返し	
28						

3 月の主な行事予定

1 日（月）テスト返し　3.11 追悼行事
2 日（火）個人面談（3 日（水）まで）
5 日（金）追認補講（9 日（火）まで）
10 日（水）生徒休業日（16 日（火）まで）
17 日（水）追認考査　特活補充（18 日（木）まで）
19 日（金）個別面談（23 日（火）まで）
22 日（月）ふれあい清掃　個人写真撮影
23 日（火）終業式